



東北商店株式会社
www.tohokushoten.com

被覆線・雑品
非鉄金属買収

貿易業

東北商店株式会社
□本社
大阪市住之江区新北島5-3-16
TEL: 06-6683-8828
□南港事業所
TEL: 06-6613-8838
□千葉支店
TEL: 0436-76-7277

グループ会社

□東北エント株式会社
兵庫県姫路市網干区浜田1585
TEL: 079-271-5025
www.tohoku-ent.com
□東北ライド株式会社
愛知県海部郡蟹江町大字蟹江新田
字大海用172番
TEL: 0567-94-5688

日刊メタルレポート

発行所

株式会社 日刊金属新聞社

本社 大阪市城東区蒲生1-3-7
電話 (06) 6932-5443 代表

購読料 半カ年44,100円(前納) 3カ月22,050円

新設住持家、貸家とも二ケタ増
宅着工持家、貸家とも二ケタ増

自動車生産、販売とも減少幅縮小

橋本健一郎氏リポート①

【概況】八月前半は米FRBの要人が次々と金融緩和縮小の開始時期が近いとのコメントをするなどのマイナス材料はあったが、七月のユーロ圏のPMI(製造業景況感指数)が五〇・五と一八カ月ぶりに五〇を上回ったことや、中国税関総署発表の貿易統計で銅輸入が八・一%増と予測を大幅に上回ったことを好感し、LME銅相場は七、二七三ドル(セツル)と前月最終価格より五二一ドル上げての前半締めとなった。

後半は八月の中国HSBCのPMI指数が五〇・一と四カ月ぶりに五〇を上回ったこと、ユーロ圏消費者信頼感指数が約二年ぶりの高水準だったことなどプラス材料があったが、アメリカの長期金利上昇に伴う金融緩和縮小観測の再燃や、米国主導のシリアへの軍事介入など地政学的リスクが台頭し、一時七、一〇〇ドル割れまで下落。

ただ九月三日現在、八月の中国国家统计局PMIが五二・〇と予測の五〇・六を上回ったことや、八月の英国製造業PMIが五七・二と二年六カ月ぶりの高水準だった事を好感し、前半締めから九七ドル下落の七、一七五ドルと下げ幅を圧縮、銅建値七四万円のスタートとなった。

■前月の経済指標

◆自動車生産台数

日本自動車工業会によると、自動車生産台数は前年比一・五%減の九一万〇、一一四台であった。

◆自動車販売台数

日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前年比六・四%減の二一万七、四一一台。

(二面へ続く)

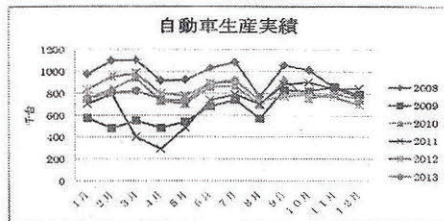
◆自動車生産台数

	5月	6月	7月
生産台数	73万2812台	80万4125台	91万114台
前年比	-6.2%	-9.5%	-1.5%

◆自動車販売台数

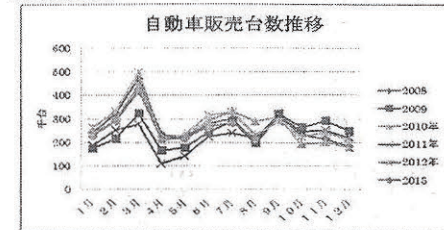
	6月	7月	8月
販売台数	28万6019台	28万4314台	21万7411台
前年比	-15.8%	-12.5%	-6.4%

自動車生産台数



出典 日本自動車工業会

自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

銅の電気銅の輸入が大幅に増加
伸銅品生産、電線出荷とも増加

(一面より続く)

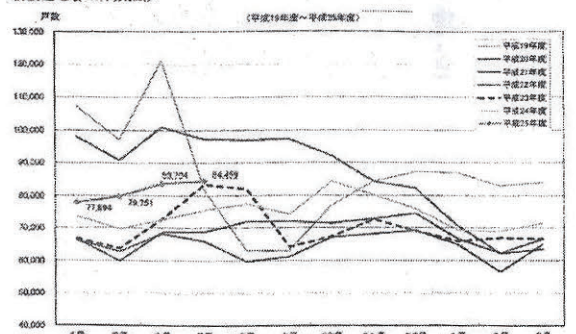
◆新設住宅着工戸数

国土交通省統計によると、新設住宅着工戸数は前年比一二%増の八万四、四五九戸であつた。

◆新設住宅着工戸数

	5月	6月	7月
新設住宅着工戸数	7万9751戸	8万3704戸	8万4459戸
前年比	+9.4%	+15.3%	+12%

新設住宅着工件数推移



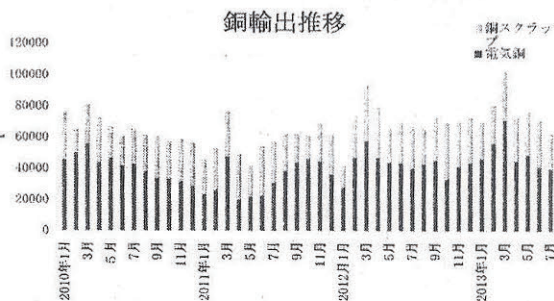
出典 国土交通省統計

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によると、輸出は前年比で電気銅が〇・七%減の三万九、六九四t、ス

輸出	5月	6月	7月
電気銅	4万8578t	4万774t	3万9694t
前年比	+10.7%	-6.0%	-0.7%
スクラップ	2万7933t	3万127t	2万2602t
前年比	+21.4%	+16.3%	-17%

輸出推移

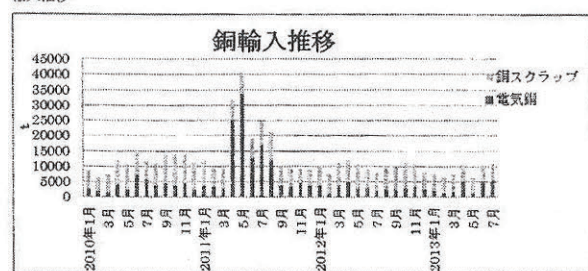


銅輸出推移

銅スクラップ
電気銅

輸入	5月	6月	7月
電気銅	1270t	5415t	5287t
前年比	-53.3%	+66.2%	+151%
スクラップ	4851t	3964t	5765t
前年比	-38.3%	-28.7%	-1.4%

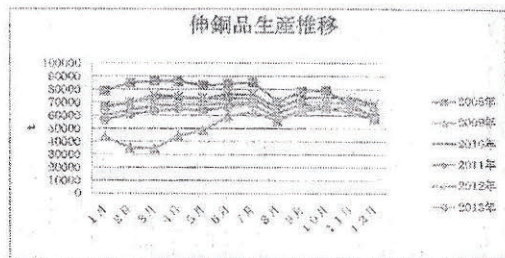
輸入推移



出典 財務省 貿易統計

■前月の国内指標

日本伸銅協会発表の伸銅品生産推移(速報)によれば、前年比一・六%増の六万九、六七〇t。



出典 日本伸銅協会

日本電線工業会発表の出荷速報(推定)は、前年比三・八%増の六万一、八〇〇tであつた。
(六面へ続く)

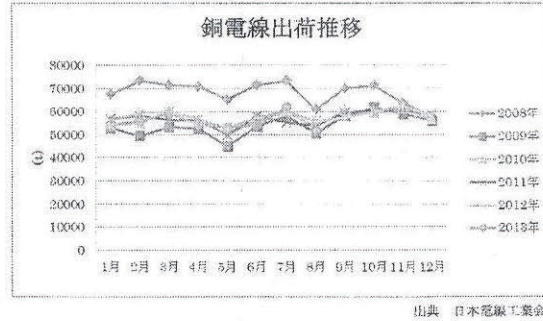
クラップが一七%減の二万二、六〇二t。輸入は電気銅が前年比一五・一%増の五、二八七t、スクラップ一・四%減の五、七六五t。

国内の
銅需給

九月も需要改善が続くかが焦点

銅相場は六、七〇〇〜七、二五〇ドルか

(二面より続く)



【見通し】

八月はFOMC議事録公開に伴う米国金融緩和縮小懸念と、米国主導のシリアへの軍事介入問題に一喜一憂した月となった。

FRBの要人が縮小時期の必要性についてコメントする中で、二十一日のFOMC議事録発表への警戒感や米国のシリアへの軍事介入が始まった際の地政学リスクへの警戒感から。

自動車生産は前年比一・五%減の一カ月連続マイナス。国内向け8%減、輸出向け生産一%減と共にマイナス。ただし減少幅は縮小。

販売の方は三カ月ぶりに一桁悪化に留まり前年比六・四%減。乗用車七・九%減、貨物四・一%増、バス二・二%増。

新設住宅着工戸数は先月に続き一一カ月連続増加、前年比一二%増(季節調整済み前月比〇・一%減)の八万四、四五九戸。今月も堅調な住宅関連。持家一一%増、貸家一九%増と大幅増。

ここ最近の消費マインズの改善から。消費税、住宅減税その他の政策の動向に注目。

伸銅品生産量は前年比一・六%増の六万九、六七〇tと九カ月ぶり前年を上回る。輸出は円安を追い風に四カ月連続前年プラスの一七%増。黄銅棒が七カ月ぶりのプラス一万六千t超え。

銅電線出荷量は、前年比三・八%増の六万

一、八〇〇tと二カ月ぶりプラス。うち国内二・八%増、輸出が六七・四%増と大幅増加。建設、電版が一・三%増、電気機械三・二%増、通信九%減、電力一二・八%減。銅の輸出に関しては、電気銅輸出が前年比〇・七%減の三万九、六九四tと微減。銅スクラップは一七%減の二万二、六〇二t。

円安で輸出環境ではあるが、住宅に続き自動車も回復基調になってきた事からの原料需要の改善から減少。

輸入は電気銅が一五・一%増の五、二八七t。スクラップは一・四%減の五、七六五t。ようやく待望の自動車生産が回復基調になってきた事から電気銅の需要は大幅増加。スクラップは円安による割高感から微減。

「銅需給に関して」

住宅関連は新設住宅着工数が前年比一二%増と一カ月連続増加、持家一一%増、貸家一九%増と好調。待望の自動車は生産が一カ月連続前年割れが続いたが、一・五%減と二桁減少から大幅縮小。八月の国内販売台数も六・四%減と先月の半分まで縮小幅が減少。また中国景気後退懸念もここ最近の経済指標をみれば収まってきており、九月も好調が続けば今後ますます供給不足が拡大する可能性が高い。

「銅価格に関して」

今月は米国のシリアへの軍事介入と金融緩和の縮小時期に左右される。

全体としては米国、中国、欧州、日本の経済指標が比較的安定していることから、以前から噂されていた九月開始が行われる可能性が高いのではないかと。

シリアへの軍事介入は予測することは不可能だが、いずれにせよその問題が台頭している限り、産業用金属である銅に関しては軍事介入は明らかにマイナス材料。

それらを踏まえた銅価格、上値は前記がどちらも行われなかった場合、八月後半高値付近の七、三五〇ドルを予測。

下値は米国の金融緩和縮小開始とシリアへの軍事介入が共に行われれば大幅下落する可能性が高く、八月最安値のもう一段安の六、七〇〇ドルを予測。

為替はシリア軍事介入からのドル売り円高からAve九七円との予測。

銅建値に関しては六八〇〜七五〇円程度と予測している。